

実験 8

水防災実験素材

身近な川のことを調べてみよう

実験の概要

身近な川の洪水履歴や名前の由来など、さまざまなことを調べたり聞いたりして、壁新聞にまとめます。

実験のねらい

身近な川について、いろいろなことを知ってもらうことがねらいです。静かに流れている川もかつては「暴れ川」として洪水を起こしていたり、洪水に基づいた名前がつけられていたりします。いろいろなことを取材し、壁新聞にまとめ、川への理解を深めていただきたいと思います。

実験の前に

身近な川について、調べてみましょう。静かに流れている川もかつては「暴れ川」として洪水を起こしていたかもしれません。川の名前は何に由来しているのでしょうか。橋の位置は昔から同じでしょうか。昔の川の様子はだれに聞いたら、どこで調べたら分かるのでしょうか。現在の状況も調べましょう。橋、堤防はどこにあるでしょうか。どんな生き物がすんでいるでしょうか。

用意するもの

市町村史、治水史等(水害履歴が掲載されている冊子)、地図、筆記用具

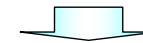
実験の準備

クラスをいくつかのグループに分けておこなうと良いでしょう。

水防災実験素材

実験の手順

1. 図書館や市町村役場などに行って資料を収集したり、インターネットを利用したり、地域の方に話を聞いたりして、調べる。
…調べる項目は以下のようなものが挙げられます；
 - ・水災害の履歴
 - ・川の名前の由来
 - ・日常生活における利用
 - ・川に生活する生き物…水災害、川の名前に関する資料は、以下のようなものが適しています；
[収集資料リストの例]
 - ・市町村史
図書館、市町村役場にあります。
通常、災害の履歴は一つの章や節にまとめて書かれています。
 - ・治水史
河川の水災害や工事の履歴が書かれているものです。
市町村役場、河川管理事務所にあります。
 - ・地域防災計画
災害対策基本法に基づいて作成されたものです。
市町村役場にあります。[ホームページの例]
 - ・自治体のホームページ
 - ・北海道開発局の各開発建設部のホームページ(「水防災教育実施マニュアル」に一覧表がありますので、参照ください)



2. 川の周辺を歩き、橋の位置や堤防の位置を確認し、地図に印をつける。
…地図は、学区内や周辺の様子が分かるもので良いです。





3. 調べたことを壁新聞にまとめ、発表する。

~~~~~

.....

.....

.....

~~~~~

.....

.....

.....

.....

.....

.....

〇〇川の名前の由来

〇〇川新聞

洪水の年表

年	月	被害のあった範囲	被害の内容
：	：
1975	5	〇〇町	浸水家屋〇戸
1981	8	△△市、××村	行方不明〇名、田畑浸水
：	：
1988	8	〇〇町	浸水家屋〇戸
：	：



←左写真
市町村史から水災害の履歴を調べている様子

学習に際してのポイント

川の洪水履歴や川の名前の由来、橋の位置、堤防の位置、日常生活における利用、生息している生き物などを取材し、壁新聞にまとめて発表します。

洪水被害を受けてきた地域では、必ず、洪水年表を壁新聞に入れることとし、地域の洪水の歴史を学習しましょう。おじいさんおばあさんや地域のお年寄りから過去の災害について聞く機会があると被害の状況がよく分かります。地域の洪水の履歴は、役場のほか、北海道開発局の各地の開発建設部にさまざまな資料がありますので、問い合わせてください。問い合わせ先は、「水防災教育実施マニュアル」に一覧を載せていますので、ご覧ください。

また、北海道の地名には、川の名から由来したものも多く、郷土の歴史を知る上で貴重です。川の名前によく使われるアイヌ語の一部を以下に示します。

川の名前によく使われるアイヌ語	意味
ペツ (pet)	川
オ (o)	川尻
ウシ (us), ウ (ush)	多くある
ポロ (poro), シ (shil), オンネ (onne)	大きい
ボン (pon), モ (mo)	小さい
ペンゲ (pence)	上流側の
パンゲ (panke)	下流側の

！注意事項！

※役場や公共施設に問合せに行くときは、事前に訪問先に必要な資料や聞きたい内容を連絡しておきましょう。

※川の周辺を歩くときは、学外での活動ですので、他の校外活動に準じて交通安全に留意するなどの安全措置を図りましょう。